

単元で育成を目指す資質・能力に係る生徒の変容について

「知って呉～京都編～」と題して、昨年度の取組とのつながりを意識させながら取り組んだ。自分たちが住んでいる呉市のよりよい将来像を見出すことを目的とし、一大観光地である京都から学ぶのは、効果的であった。

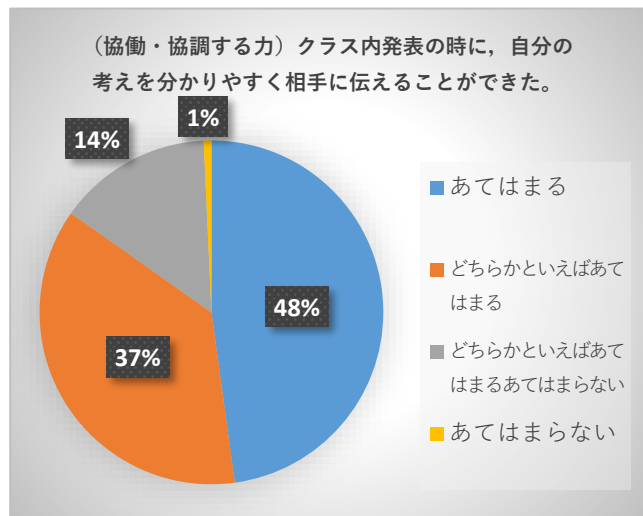
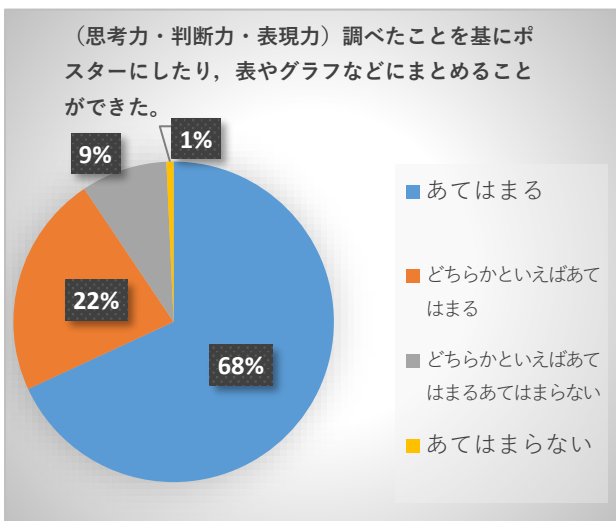
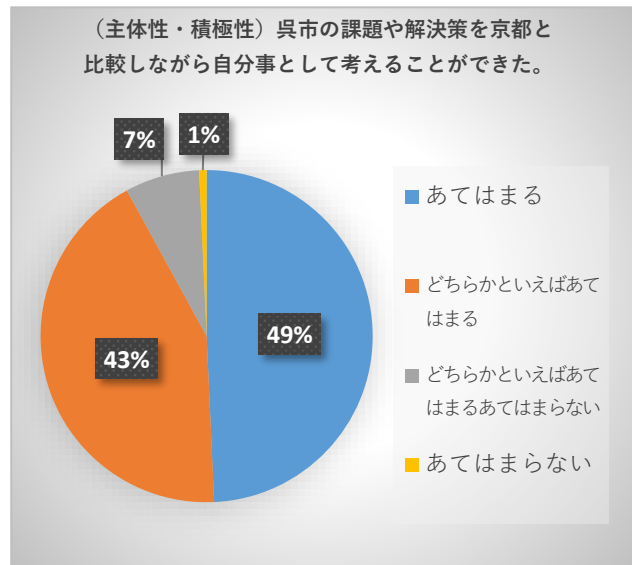
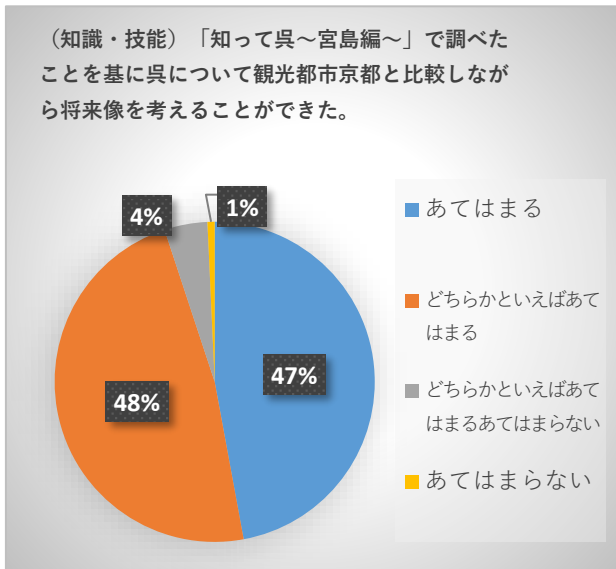
【思考力・判断力・表現力】

インターネットを始めとしたメディアからの情報を収集し、分析・分類することで、自分たちに必要な情報を取捨選択する力を伸ばすことができた。

【主体性・積極性】

修学旅行での京都市内班別自主研修をこの取組の集大成とし、観光だけにとどまらず、自分たちが見つけた課題のフィルターを通して名所巡りをさせた。その活動で、「見た・聞いた・触れた」だけに終始せず、「呉と比べて有名な建物や食べ物があるから京都には観光客が多いと思っていたが、それ以上に京都の人たちが親切で優しく笑顔であふれていると思った。」「呉は、もう少し道路を整備したり観光名所行きのバスを作ったりするといかないか。」「呉は京都と同じように、観光名所にそれに関連する施設を増やすことはできないだろうか。」といった新たな課題発見へと繋げることができた。

<資質・能力に係る生徒アンケートの結果>



【課題】

△京都市内でのインタビュー活動は施設側から制止されたため、直接インバウンドから意見を得るために、事前にインタビュー依頼をするなど手立てが必要である。